

みどりの風 NO.69

看護師川柳

休みでも 考えるのは 患者のこと（兼島柚葉）

発行・編集責任（緑風会会長 大矢正明）

もう梅雨明け？の猛暑・・・酷暑～蒸暑日 熱中症に気をつけましょう

どんな人が熱中症にかかりやすいか？

① 朝ごはんを食べない人

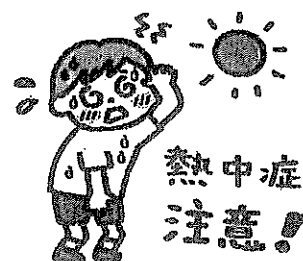
② おとなしい人⇒我慢しすぎてしまう

③ 私病のある人（服薬・薬の飲み忘れ）

⇒薬が脱水症状を誘発するものもある

⇒糖尿病・腎臓病は特に重症化しやすい

④ 寝不足⇒自律神経の働きが鈍り体温コントロールが低下



（ネット情報）

日本の国民皆保険制度

みどりの風

私たち国民は、誰でも、いつでも、どこでも。

赤ちゃんからお年寄りまで、生涯にわたって健康保険証を持ち続け、一定の負担で医療のサービスを受けられます。国民すべてが保険証をもつ皆保険制度が始まったのはおよそ60年前。それ以前は農業や自営業者、零細企業の従業員を中心に、約3千万人が無保険者となっていたそうです。当時は症状があっても耐え、診療も検査も受けられず、劣悪な状況が続き日本社会の大きな課題でした。その状況を変えることが日本社会の一大事業でしたが、その努力の末にできたのが、日本の皆保険制度。いまでは世界に誇れるものになり、**保険証1枚で医療を受けられる姿は当たり前**のようになっています。▼最近自宅に配布された美濃加茂市の広報に「後期高齢者医療制度に加入する人には、マイナ保険証の有無に関わらず、申請なしで『資格確認書』をお届けします。マイナ保険証の利用が難しい人でも『資格確認書』で医療を受けられます」とありました。日本全国の後期高齢者全員に『資格証明書』を届けるのに莫大な費用がかかっている、そもそも保険証を廃止しマイナンバーカードにするのにも莫大な税金を使っているはず、そんな無駄なことになるなら今までの保険証でなんら問題はなかったのにと思うのは自分だけではないはず。こんなこととしてまで保険証を廃止したのは**国民皆保険制度を揺るがすこと**になりはしないか心配します。とにかく日本国民だれもが安心して一定の負担で医療を受けられるこの日本の皆保険制度が改悪されないようにみんなで見守らなければいけませんね。

（2025.6.25 大矢）

「青い鳥ハガキ」御寄付者 **ご協力に感謝！！** 敬称略

大川克二、樋口秀夫、藤吉健二、天池吾一、中島幸子、西村満夫、小池治美、加藤順子、花井昭義、大矢悦子、大矢正明、加藤宜充、熊澤昭子、長尾 忍、森田 守、金森敦司、小林正子、杉山隆勇、深田正彌、瀧 道雄、三宅勝正、武石 治、兼松 稔、鹿野義廣、川越和幸、宗像みどり、野村たか子、北野克成、加納披里、清水健吾

以上 30 名のみなさん、ありがとうございました。